

二〇一二年
二月議会

和歌山市議会二月定例議会は二月二十四日から開会され、私は三月五日、一般質問にたち市内山口地区・滝畑に計画されている産廃埋立最終処分場建設計画の問題を取り上げました。

事業者は地元説明会で「根来断層は停滞期」としていますが国、和歌山県・市及び地質専門家は埋立予定地周辺の地震の可能性を予測しています。また産廃計画事業者が硫化水素ガスを「広大な構外で発生するため、飛散し、すぐには健康被害は発生しない」と説明していることに市の対応を質しました。

根来断層は「停滞期」とする根拠はない

産廃建設計画事業者は二月五日の住民説明会で、また阪南市議会においても「根来断層については相対的に長周期で活動しており、現在は停滞期である」と説明しています。

私は和歌山県、市の「防災担当課」が警告している断層・中央構造線及びその副断層・根来断層の地震予測の答弁を求めました。

市危機管理室は「市街地は震度六強から七、和泉山系ではほとんどの地域で六強となることを予測している」と答弁。

また断層・中央構造線地震については国の見直しは昨年二月おこなわれ、今後三〇年以内の発生確率は〇・〇％～六％であったものが、〇・〇６％～一四％へと見直されたことも答弁されました。



産廃埋立最終処分場建設反対集会・市役所前で

ガスの危険性を指摘

地震専門家「適地とはいえない」と指摘

私は、事業者が「停滞期」と住民へ説明していることへの真偽を確かめるため、大阪市立大学大学院名誉教授に意見を求めてきたことを明らかにし、教授の分析は「あまりよい適地とはいえない」とする分析結果とその根拠を示し、住民の皆さんが「断層近くに産廃埋立処分場は大丈夫か」との疑問に対する市当局の対応を質しました。

市は「産廃処分場を設置する場所の地質等は許可の要因とはなっていないが、廃棄物最終処分場指針解説では農業土木学会等の設計基準を遵守しなければならないとが示されていることを事業者に指導する」と答弁しました。

上黒谷推定断層「留意すべき」と答弁

また、産業廃棄物処分場付近に、国の地質調査総合センターが「上黒谷推定断層」の存在を指摘していることに意見を求めました。市危機管理室は「公的機関の指摘であり、留意すべき断層である」と、滝畑地区の地質に対し、地殻変動等に警戒すべき地域であることを答弁しました。

産廃埋立処分場の地盤



日本共産党市議会議員 渡辺忠広

渡辺忠広 無料生活相談所

毎週・水曜日 十三時三〇分～、十九時～
和歌山市土入二四一一五
電話 〇七三ー四八〇ー五四七七
顧問には弁護士、司法書士、会計士、社会保険
労務士の方にお願ひしています。

日本共産党和歌山市議会議員

渡辺忠広ニュース

2012年 3月 No. 31

自宅 和歌山市木ノ本71-54

電話 073-452-5732

Mail watanabe@naxnet.or.jp

市議団・電話 073-435-1113

市長「住民への説明は十分とは言えない」と答弁

二月五日の一般質問で、滝畑・山口地区へ産廃埋立処分場を計画している事業者は、二月五日の住民説明会で「硫化水素に関しては、発生している処分場も知っている。室内ではなく、広大な構外で発生する硫化水素に関しては飛散する。もし発生したとしてもすぐには健康被害は発生するものではない」と説明しています。

硫化水素は猛毒ガス 事業者への指導を要請

私は「硫化水素は飛散するが、すぐには健康被害は発生しない」との事業者説明にたいして、硫化水素ガスは、極めて少ない濃度・七〇〇ppm以上で死に至る猛毒なガスで、燃焼ガスであることを指摘し、事業者は適切な説明責任を果たしていないことを指摘し、市の対応を質しました。

市は「硫化水素ガスは、環境及び健康に被害を与えるガスであることは認識している。従って事業者に対してガスの健康への影響について、住民に適切な説明をするよう指導する」と答弁しました。

また、埋立処分場から発生するガスによる全国の火災、有毒ガス発生事件の事例把握を質し、事業者の住民への説明責任に対する市長の見解を質しました。

市長は「現状の事業者の住民への説明は十分果たしているとはいえない」と答弁しました。

硫化水素「構外での事業、すぐには健康被害はない」-事業者説明

阪南市の意見書追加「河川の水質問題を質す

大阪府阪南市は今年一月十八日、事業者に対して意見書を提出していることを指摘し、その内容を質しました。

市は「滝畑川の下流は山中川で、事業計画地からの排水は全て流入する。その水系は大阪府が環境基本法に基づく類型指定はA類型指定されている。地域住民が河川の水質等への影響を懸念するのは、特に有害物によるもの」「A類型指定の利水目的は適応性として水道、水産、水

浴の適用性の確保となっており、大阪府の環境保全部標の健康項目の追加の申し入れは妥当なことだ」と、答弁しました。

私は「大阪府の山中川へ流れる滝畑川はホタルの飛び時期には、ホタルが乱舞する数少ない河川であり、この清流を保存していくことは、行政の大切な課題である。和歌山市は滝畑川を大阪府が指定する水質基準を守る責任は重大だ」と指摘しました。

孝子向斜線について

3月5日、一般質問で、産業廃棄物最終埋立処分場計画地・滝畑地区の地質問題を質しました。

滝畑地区の地質調査を行った「独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター」は「孝子向斜線」を指摘しています。

「孝子向斜線」は貴志地区の孝子峠から産廃処分場建設予定地・雄ノ山峠間を東西に形成され、また南北にも幾つもの向斜線の存在が指摘されています。

廃棄物処分場計画地は「向斜線」上の谷を埋立て建設が計画されており、地震等によって地殻変動などが発生すれば堰堤（堤）の崩壊する危険性があり、崩壊ともなれば埋立処分された廃棄物が流れ出す危険性がある地質上であることを指摘しました。

*「向斜線」とは地盤が沈み込む地形で谷を形成し、また「背斜線」は浮き上がる地形で峰を形成する地形線のことで、現況の山並みをつくる地層です。



違法投棄で中止処分されている紀の川市産廃埋立処分場